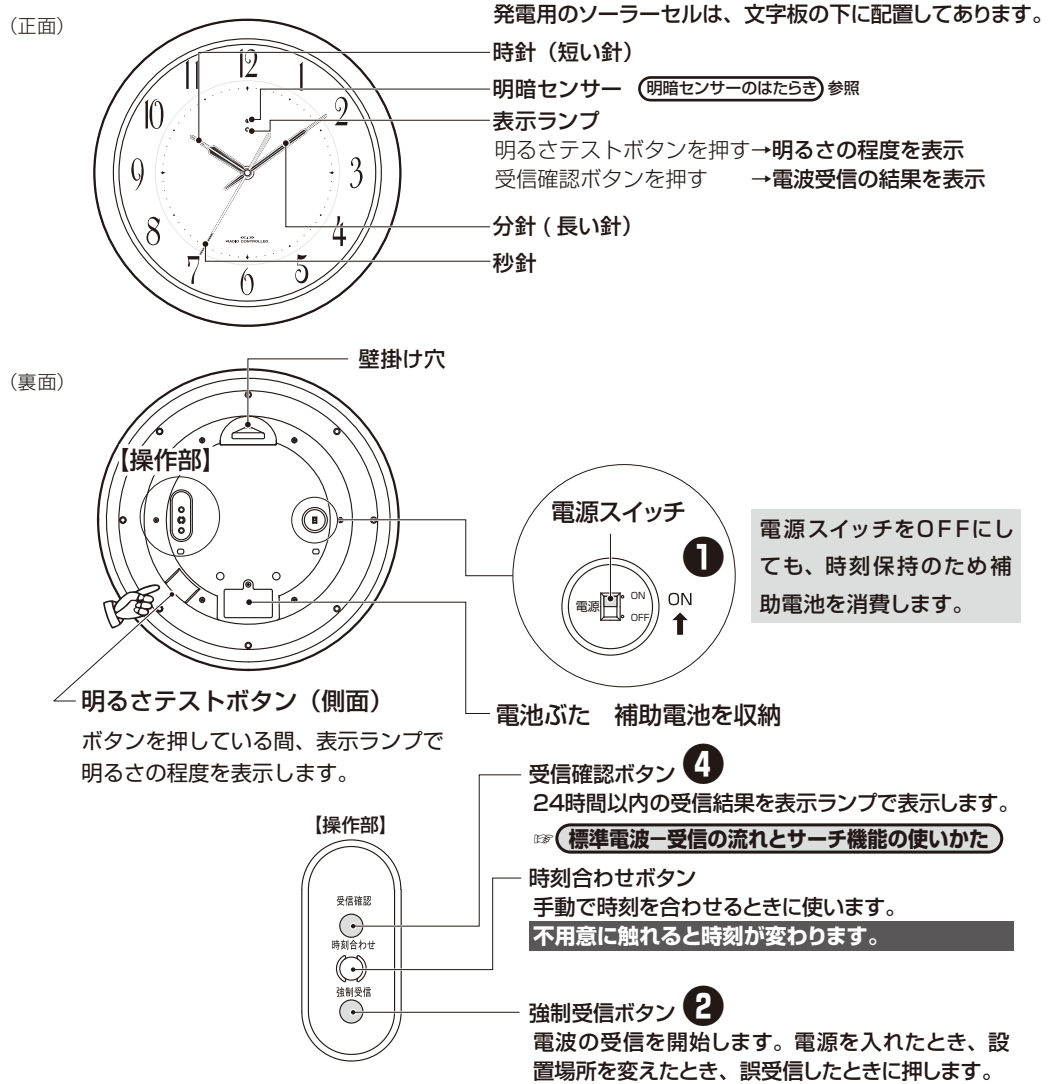


◎図は操作説明用ですので、実際と異なることがあります。



静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、**強制受信**を押してください。

補助電池の交換時期お知らせ機能

補助電池の交換時期になると、秒針が明るいところでも12時位置に停止したままになります。そのまま放置すると電池からの液もれや誤作動の原因になりますので、速やかに新品の電池にすべて交換してください。**電源について……ソーラー発電と補助電池**参照。

明暗センサーのはたらき……暗くなると眠る秒針

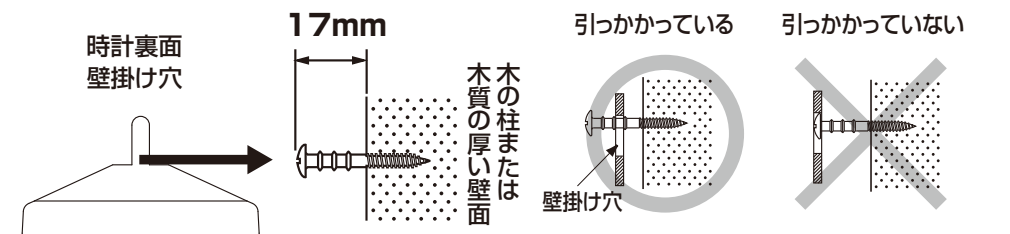
明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針を12時位置で停止させます。昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが動きます。

掛けて使用する場合

掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。
○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
○掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじや取付金具)がしっかりと掛かっていることを確認してください。
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかりと掛かるものを選んでください。
○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
●木ねじは下図の通り、壁面にしっかりとねじ込んで固定してください。



石膏ボードの壁面の場合

●付属の取付金具を使用できる場所は、石膏ボードの壁面です。
●取付金具は下図の通り、付属のクギ4本でしっかり固定してください。

取り付け方 取付金具 タイプA
金具を水平にして①②の順序でクギを打つ。

取付金具 タイプB
クギ

取付金具の穴に対して、垂直に押し込む

取付金具の穴に対して、垂直に押し込む

クギ

取付金具の穴に対して、垂直に押し込む

石膏ボードの壁面

引っかかっている 引っかかっていない

- 壁の材質、取り付け方を確認の上で使用ください。
- 付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。
- 取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
- クギは取付金具の穴に対して、垂直に押し込んでください。
- 取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

その他の壁面の場合

●コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

置いて使用する場合

付属のスタンドを、図のように時計裏面の穴にしっかりと差し込みます。
●転倒しないように、水平で振動の少ない所に置いてください。
●掛けて使用するときは、必ずスタンドを取り外してください。

おもな製品仕様

時間精度	標準電波受信直後の表示精度	秒針 ±1秒	時計/分針 目盛りに対して±3度
		標準電波を受信しないとき	平均月差±20秒 (常温中のクォーツ精度)
使用温度範囲	-10℃ ~ 50℃ *結露しないこと		
ソーラー発電	アモルファスソーラーセル		
蓄電用電池	コイン形リチウム二次電池 ML2016		
補助電池	推奨電池:パナニック製 エボルタ単3形アルカリ乾電池または同等品 2個		
補助電池寿命	暗所で使用した場合 約7年 使用環境により交換が必要になります		
補助電池交換時期お知らせ機能	補助電池の残量が少なくなった場合に、秒針を12時位置に停止		
電波機能	電波を受信して時刻を修正		
受信局	福島局/九州局自動選択		
受信回数	最少 1回/2日 最多 3回/1日		
受信開始時刻	2時, 3時, 4時, 14時, 15時, 16時 各時間帯の16分20秒 *いずれかの時刻に開始する		
電波受信ON/OFF	あり		
時刻バックアップ機能	あり (補助電池を使用)		
明るさ確認機能	表示ランプにより明るさ(照度)を3段階表示		
暗所秒針停止機能	明暗センサーと連動して秒針を12時位置に停止		

※付属の乾電池(マンガンまたはアルカリ)は、動作確認のためのお試し用です。工場出荷時に同梱しますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。使用する電池は、お試用電池の種類に関わらず、「おもな製品仕様」に記載の推奨電池をお求めください。
※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 お試用電池(組み込み済み) 2個、木ねじ 1個、取付金具 1個、クギ 4個、スタンド 1個、取扱説明書・保証書 本書

はじめてお使いになるとき

標準電波を利用しないで、時刻を合わせる場合は、**【手動での時刻合わせ】**を参照してください。

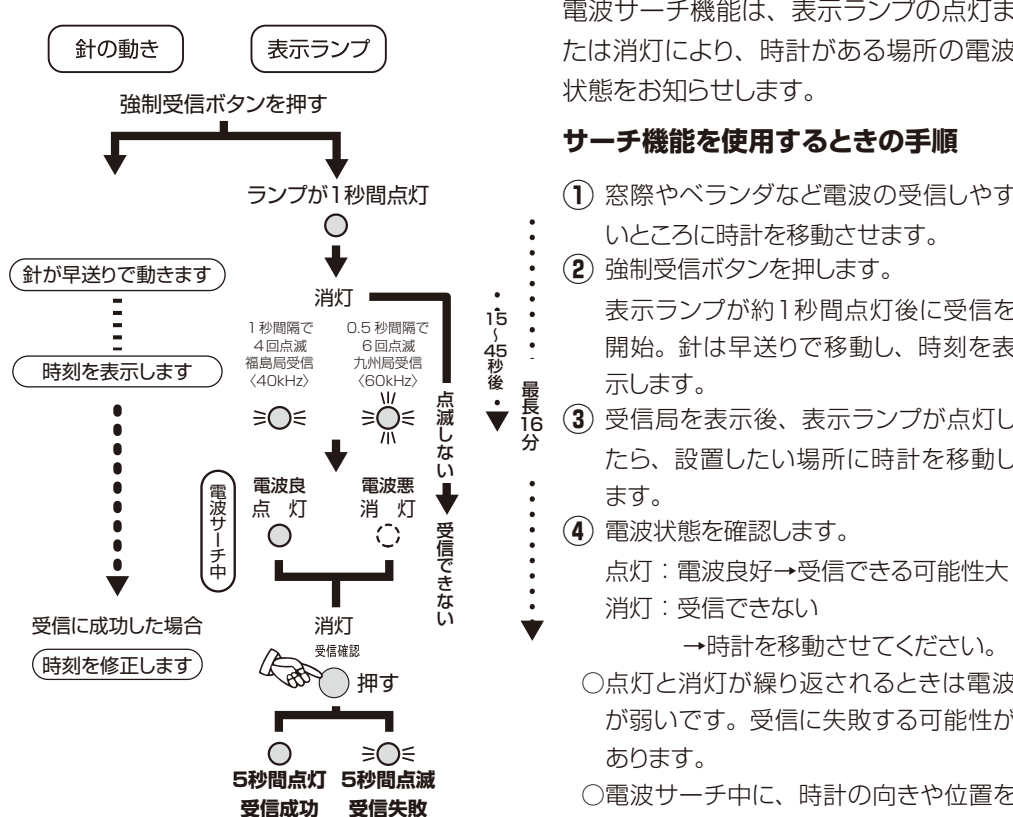
○窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。
この時計は、時刻に合わせて出荷しています。

- 1 電源スイッチをONにする**
- 2 強制受信ボタンを押す**
表示ランプが約1秒間点灯し、およそ3分以内に時刻を表示します。
標準電波一受信の流れとサーチ機能の使いかたをお読みください。
- 3 時計を設置する**
- 4 受信結果を確認する**
受信を開始してから約16分後に表示ランプが消灯していることを確認してから時計を取り外し、受信確認ボタンを押して受信結果を確認してください。
表示ランプが**5秒間点滅**: 受信に成功 (正しい時刻)
表示ランプが**5秒間点滅**: 受信に失敗 (不正確な時刻)
標準電波を受信できない場合をお読みください。
表示ランプが消灯したままのときは、受信が終了していないか、電波受信機能が「OFF」に設定されています。

時計を使用する場所の明るさを確認しましょう

明るさテストボタンを押して明るさを確認してください。表示ランプが赤色点滅または消灯した場合は、補助電池の消費を早めます。
詳しくは、**電源について……ソーラー発電と補助電池**をお読みください。

標準電波一受信の流れとサーチ機能の使いかた



電波サーチ機能は、表示ランプの点灯または消灯により、時計がある場所の電波状態をお知らせします。

サーチ機能を使用するときの手順

- 窓際やベランダなど電波の受信しやすいところに時計を移動させます。
- 強制受信ボタンを押します。
表示ランプが約1秒間点灯後に受信を開始。針は早速りで移動し、時刻を表示します。
- 受信局を表示後、表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動します。
- 電波状態を確認します。
点灯: 電波良好→受信できる可能性大
消灯: 受信できない
→時計を移動させてください。
○点灯と消灯が繰り返されるときは電波が弱いです。受信に失敗する可能性があります。
○電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると表示ランプの状態が変化します。
- 受信確認ボタンを押して受信ランプで結果を確認します。
受信成功: 5秒間緑色点灯
受信失敗: 5秒間緑色点滅
標準電波を受信できない場合 ^

○受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて**強制受信ボタン**を押してください。
○受信に失敗している場合は、表示されている時刻は正しくありません。

標準電波を受信できない場合

電波の受信に失敗した場合、3通りの対処方法があります。

- 2〜3日様子を見る**
一般的に、夜間は電波が受信しやすくなりますので、受信できるか2〜3日様子を見てください。2〜3日後に受信確認ボタンを押して受信結果を確認してください。
- 時計を電波の受信しやすいところに移動して設置**
窓際など比較的電波を受信しやすいところに設置し、強制受信ボタンを押してください。このとき、時計の正面または裏面が送信所の方向になるようにすることが望ましいです。
- 時刻合わせをして使用する**
ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時間精度はクォーツ精度になります。
※電波を受信しにくいところで使用すると、ノイズにより誤った時刻を表示するおそれがありますので、電波受信機能をOFFにしてお使いになることをお勧めいたします。

受信できない場合は、下記の操作でご使用になれます。

手動での時刻合わせ 電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早速りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作してください。
※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。
※**電波受信機能のON/OFF操作**

時刻合わせボタンを押すと、時計・分針・秒針が動き始めます。
○時刻合わせボタンを押して、すぐに離れた場合は1分進みます。
○時刻合わせボタンを押し続けた場合は、早速りで動きます。このとき、秒針は12時位置になったときに停止し、ボタンを離れたときに動き出します。

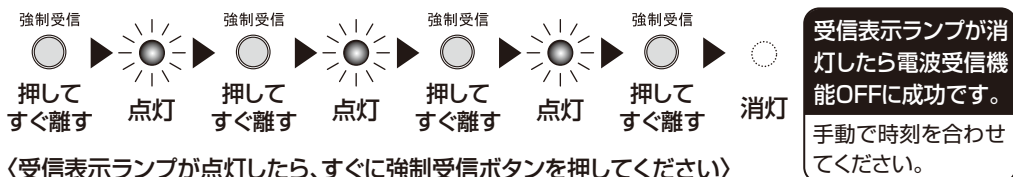
秒針の動きについて
秒は、時刻合わせボタンを離れたとき、「0秒」に設定されます。秒針が早速りで動いているときに、時刻合わせボタンを離すと、そのまま早速りで現在時刻の秒位置まで動きます。

電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすいところや意図的に時間をずらしてお使いになるときは、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクォーツ精度になります。

電波受信機能をOFFにするには(停止するには)

図のように**強制受信ボタン**を4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作をやり直してください。
※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。



〈受信表示ランプが点灯したら、すぐに強制受信ボタンを押してください〉
※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したまま、針が早速りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。
※電池を取り出しても設定を長い時間保持しています。

電波受信機能をONにするには(開始するには)

電波受信機能をONに設定して工場を出荷しています。
時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。

